

民泊家庭 87軒

# 出水市

## 舞うツルと、古を伝える武家屋敷のまち

鹿児島県の北西に位置する出水市は、新幹線が停車する駅もある県境のまちです。江戸時代には熊本方面に続く薩摩街道沿いに武家屋敷が形成され、その名残を体感することができます。またツルの飛来地としても知られた歴史と自然の両方が楽しめます。

鹿兒島空港から… 約1時間20分

出水駅から… 約5分

水俣病資料館から… 約30分

※出水市役所までの所要時間です



## 米ノ津地区

民泊家庭 / 19軒 / 87

県境のまちはかつて交流の港としても繁栄しました。現在は天然エビなどの漁港としても知られています。



### デコボンぽんかん サワーポメロ etc

不知火海を見下ろす高台で8種類のみかんを作っており、生育時期の違いで7月から4月までの長期に渡り収穫ができます。

5月にはかわいい白い花が咲きますので甘い香りに包まれた中で花摘みをし、6月には余分な実の摘み取りを行います。5・6月の作業がおいしいみかんをたくさん作る上でとても重要な仕事なのです。



櫻木 美代子さん

### オススメ

#### 野間之関

江戸時代、肥後国(現熊本県)との間に設けられた関所で、通行に際しての取調べの厳しさは特別でした。勤王の志士・高山彦九郎や漢学者・頼山陽も関所で足止めされたことを記録に残しています。



## 出水地区

民泊家庭 / 25軒 / 87

まずは武家屋敷群の美しさが特徴です。碁盤の目状に整備された街並みは江戸時代の頃からの名残です。屋敷は一般公開されているところもあり、またガイドも常駐していることから背景の物語にも触れることができます。



### 乳牛の仔牛に牛乳やり

わたしの牧場には生後1歳までのホルスタインの仔牛が常時200頭いて、そのうち30~40頭はまだ赤ちゃんでミルクやりができます。聴診器で仔牛の心音を聞いたり、搾りたての牛乳で手作りバターを作り、パンに塗って食べたりと南国の牧場が満喫できます。

和田 孝子さん



### オススメ

#### 出水の武家屋敷群

肥後国(現熊本県)との国境の要所として多くの武士が住まわされたこの地は、44ha・150戸という破格の規模で今も武家屋敷が残っています。無料で一般公開されている屋敷もあります。



## 大川内地区

民泊家庭 / 12軒 / 87

出水市街地からは少しばかり山側に広がる地域です。山並みに美しさと豊かな川からなる風景は、訪れる人々をほっとさせてくれます。



### 爽やか高地で茶摘み

標高600mの山間部で30年以上前から有機栽培のお茶づくりをしています。約4.5haのお茶畑には2頭のヤギが放し飼いにされており雑草を食べてくれます。5月~7月に茶摘みを行い、隣接した茶工場では一年を通して製茶・出荷作業の手伝いができます。ここは夏場でも過ごしやすい気候で、地元では「鹿児島県の軽井沢」と呼ばれています。

田中 八千代さん



### オススメ

#### 東雲の里

私設のアジサイ園でありながら、5万坪の敷地に160種類以上のアジサイが10万本。スケールの大きさもさりながら、散策路や休憩所、ギャラリーにちりばめられたユーモアセンスに癒されます。



## 高尾野・江内地区

民泊家庭 / 19軒 / 87

出水市の特徴であるツルの飛来地の近くで、江戸時代を中心にして干拓によって平地が広がったところでもあります。



### 植木職人のワザを伝授します

出水市には100軒以上の植木生産業者がいて特に高尾野地区で盛んです。ここで育てられた樹木は東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンにも植えられています。我が家では切り花栽培をしており、植え替えや剪定、収穫などをプロの植木職人が指導します。100年以上の歴史を持つ、植木栽培の歴史についてもお話ししましょう。

石野 武志さん



### オススメ

#### 荒崎のツル

出水平野は世界一のツルの越冬地。ナベヅル、マナヅルなど合わせて1万羽あまりが集います。古来大事にされてきたツルたちは、昭和27年には国の天然記念物に指定。のんびりとこの地で11月ごろから3月ごろまでを過ごします。

